

2日間で徹底理解！

幾何公差 実践ワークショップ【東京開催】

◆日時: 2025年8月18日(月) 10:30～16:30

2024年8月19日(火) 10:30～16:30

◆会場: 江東区産業会館 第2会議室

◆聴講料: 1名につき70,400円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき66,000円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で70,400円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系 准教授 博士(工学) 鈴木 伸哉 氏

【プログラム】

1. ワークショップ1日目(8/18)

- 1-1. サイズ公差と幾何公差の使い分け
- 1-2. データム系
- 1-3. 幾何公差
- 1-4. 総合製図演習1

2. ワークショップ2日目(8/19)

- 2-1. 最大実体公差方式
- 2-2. 組立ての条件
- 2-3. 位置度の式
- 2-4. 総合製図演習2

動画教材(オンデマンド配信)※詳細はHPでご確認ください。

■事前に動画教材を視聴いただきます。

※お申込み後、ご用意が出来次第、URLをご案内いたします

1章 はじめに

- 1.1 公差の概観
- 1.2 新しい用語
- 1.3 公差, 許容差, ばらつきおよびサイズ差の区別
- 1.4 寸法および公差の表示方式

2章 サイズ公差と幾何公差の使い分け

- 2.1 サイズ形体
- 2.2 長さに関わるサイズ
- 2.3 角度に関わるサイズ
- 2.4 機能, 性能を考慮したサイズ公差と幾何公差の使い分け
- 2.5 寸法と公差との関係
- 2.6 拡張されていくサイズ形体

3章 長さに関わるサイズ

- 3.1 局部サイズと全体サイズ
- 3.2 独立の原則および包絡の条件
- 3.3 長さに関わるサイズの指定条件

4章 幾何公差

- 4.1 幾何公差の概要
- 4.2 公差域
- 4.3 設定する幾何公差の包含的な関係
- 4.4 外殻形体および誘導形体
- 4.5 中心軸線および中心平面
- 4.6 幾何公差に関わる指示

5章 サイズ公差と幾何公差との関連

- 5.1 最大実体公差方式
- 5.2 最大実体公差方式の形状, 姿勢, 位置公差への適用
- 5.3 ゼロ幾何公差方式
- 5.4 最大実体公差方式の注意点
- 5.5 最小実体公差方式
- 5.6 データム形体への最大実体公差方式の適用

6章 組立ての条件

- 6.1 サイズ公差と形状公差とが関係する組立て
- 6.2 サイズ公差と姿勢公差とが関係する組立て
- 6.3 サイズ公差と位置公差とが関係する組立て
- 6.4 位置度の式

『幾何公差【東京開催】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>**R & D**
SUPPORT CENTER

株式会社 R & D 支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階

TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <https://www.rdsc.co.jp/>